

# 第52回 東京女子医科大学 神経懇話会 (20180724) @ 中央校舎401番教室

今回は当教室の柴田亮行教授が当番世話人を務め、一般演題の後の特別講演に岐阜大学大学院医学系研究科神経内科・老年学分野の下畑享良教授をお呼びし、「脳梗塞急性期新規治療法開発」の経緯と展望に関するお話をしていただいた。



当番世話人柴田・下畑教授・代表世話人北川教授

## 第52回東京女子医科大学・神経懇話会

日時：2018年7月24日(火) 18:00~20:00

場所：東京女子医科大学 中央校舎4階 400講義室  
(住所：東京都新宿区河田町8-1 電話：03-3353-8111)

【商品紹介】(18:00~18:10)『抗てんかん剤 フィロンバ』 エーザイ株式会社

【一般演題】(18:10~19:00) <座長> 澤田 達男 (第一病理)  
(口演7分・討論約3分)

1. 『脳梗塞モデルに対する他家間葉系幹細胞シートの移植』  
東京女子医科大学先端生命科学研究所<sup>1)</sup>、脳神経外科<sup>2)</sup>、慶應義塾大学医学部 脳再生医学寄附講座<sup>3)</sup>  
関根 勇一<sup>1)</sup>、劉 美博<sup>2)</sup>、小林 英司<sup>2)</sup>、川俣 貴一<sup>2)</sup>、清水 達也<sup>3)</sup>
2. 『新規血管新生抑制因子 LYPD1 の発見と脳血管疾患研究への展望』  
東京女子医科大学 先端生命科学研究所<sup>1)</sup>、脳神経内科<sup>2)</sup>  
松浦 勝久<sup>1)</sup>、青木 信彦<sup>2)</sup>、阪本 寛<sup>2)</sup>、清水 達也<sup>3)</sup>
3. 『脳腫瘍におけるヒストン修飾変化の意義』  
東京女子医科大学 病理学第一講座  
増井 憲大、原地 美穂、柴田 亮行
4. 『難治性脳筋型重症筋無力症の長期治療経過中に精神症状を発症した女子例』  
東京女子医科大学医学部小児科<sup>1)</sup>、神経精神科<sup>2)</sup>  
谷口 直子<sup>1)</sup>、石垣 景子<sup>1)</sup>、石黒 久美子<sup>1)</sup>、七字 美延<sup>2)</sup>、佐藤 孝俊<sup>2)</sup>、村上 てるみ<sup>2)</sup>、  
宮内 美貴子<sup>2)</sup>、斎藤 理絵<sup>2)</sup>、永田 智<sup>2)</sup>
5. 『電気診断で心因性筋力低下が疑われた症例の検討』  
東京女子医科大学脳神経内科  
戸田 晋央、久保田 愛、丸山 恵子、熊崎 睦、北川 一夫

【特別講演】(19:00~20:00) <座長> 柴田 亮行 (第一病理)

## 「脳梗塞に対する トランスレーショナル・リサーチ」

岐阜大学大学院 医学系研究科 神経内科・老年学分野  
教授 下畑 享良 先生

\*当日は軽食をご用意しております

(なお、国立大学の施設にご所属の先生方におかれましては、事前にご所属機関の承認を得、ご確認の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます)

当番世話人 東京女子医科大学 第一病理学講座 柴田 亮行  
(共催) 東京女子医科大学・エーザイ (株)